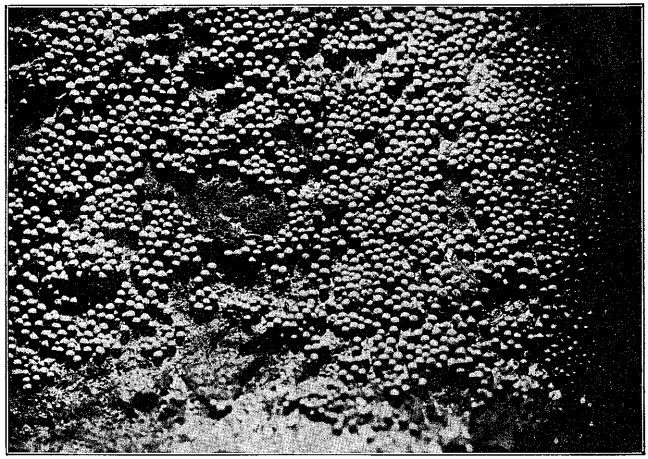
ガアル、ソレデ古事記ニ出テ居ル蒲子トイフモノモえびのみト呼ブヤウニナッテ居ルノデ此おほえびトイフモノデハナク唯ノえびトイフモノデ野生ノえびつるトイフモノガ蒲子ニ當ルヤウデアリマス、尙ホ日本ノぶだうニハやまぶだうトイフモノ、野ぶだうトイフモノガアルノデアリマス、是モ野生シテ居リマスガ古事記ニアルぶだうハやまぶだうノぶだうデナク通例えびつるトイフノデアラウト思ハレル、ソレニ當テルノガ適當デアルト考ヘル、實際御蔓トイフノハ頭ノ飾リニシテ居ッタ玉デアリマス、古代ハ玉ヲ頭ノ飾ニシテ居ッタモノデアリマス、其玉ガぶだうニ變ッタトイフコトニナッテ居ルノデアリマスガソレデ御蔓トイフノハドウイフ玉カトイフト吹玉トイフモノガアリマス、紫色ノ大豆ヨリ少シ小サイ圓イ玉ガ古墳ナドカラ能ク出マス、此吹玉ガ野生ノえびつるノ實ニ似テ居リマス、野生ノえびつるハ東京近所ニ幾ラモアルノデアリマス、此處ニ植物ノ標本ガアリマスガ之ガえびつるトイフモノデアリマス、是ノ實ガ丁度二分カ三分ノ間位ノ吹玉ト同ジ位ノ大キサデ、色モ紫ヤ黑イヤウナ色デ實ガ生ルノデアリマスカラ先ヅ此黑御蔓トナッテ居ルモノハえびつるト考ヘルノガ適當デアルノデアリマス　（ツヅク）

○日本變形菌譜　其六

理學博士　服部廣太郎

○Trichia affinis De Bary

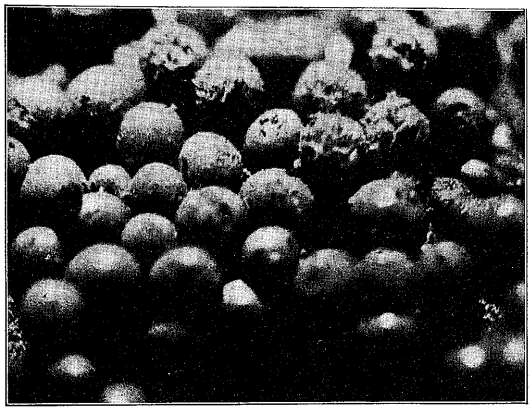
子囊體ハ朽木ノ上ニ密生シ徃々十糎平方位ノ大群ヲナシテ發生スルコトガアル（第一圖）、此子囊體ニハ全ク柄ヲ缺キ子囊ハ不整齊ノ球形ヲナスカ或ハ上部ニ稍廣キ楕圓形デ卵形ニ近イ者モ出來ルコトガアル、各子囊ノ著生スル部分ニハ變形膜ガ明瞭ニ存在スルコトモアル、凡テ外觀ハ光澤アル黃褐色ニ近イ金茶色デアッテ成熟シタ子囊ハ上部ガ不規則ニ裂ケ其間カラ子囊壁ト同色調ノ細毛體ト胞子トノ團塊ガ現ハレ出ル（第二圖）



（第　一　圖）

Trichia affinis De Bary ノ群落（二倍大）

細毛體ハ黃色ノ長キ彈絲デアッテ其太サハ約五μ位アリ兩端ハ短カク尖ッテ居ル、四條ノ螺旋紋ガ規則正シク絲ノ一端カヲ他端ニ及ンデ居ル、此絲ヲ低度ニ廓大シタノデハ螺旋紋上ハ平滑ニ見エルガ（第三圖）之ヲ高度ニ廓大スルト其螺旋條上ニ極メテ細カキ突起ノ散在スルコトガ知ラルルデアラウ（第四圖）、又螺旋ノ條ト條トノ間ニハ疎ラナ縱縞ノアルコトモ窺ヒ得ラル、



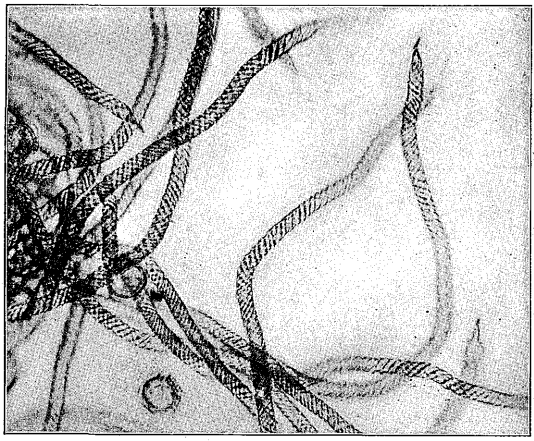
第　二　圖

同上ノ一部ヲ廓大シタル者（大倍五十五）

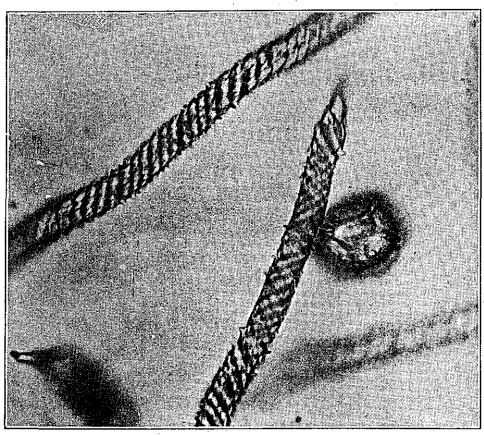
胞子ハ之ヲ鏡下ニ窺ヘバ淡黃色ニ見エ大サハ一二乃至一五μ位デアル、表面ニハ五角形ヲシタ網目模樣ガアル第四圖ニ其ガ現ハレテ居ル、此網目ハ高ク盛リ上ッタ筋カラ成ッテ居リ之ニ點々ト孔紋ガ見エル

De Bary 氏ガ此種ノ記載ヲ公ニシタ一年前ナル一八六八年

ニ Karsten 氏ガ T. persimilis ト云フ種ニ就テ記述シタガ此兩者ハ形態上殆ンド同一樣デアッテ區別シ難イ點ガ多イ、其故 McBride 氏ノ如キハ persimilis ヲ存シテ affinis ヲ之ガ異名同種トシタ位デアル、然シ余ハ未ダ兩命名者ノ原著ヲ比較考査スルコトノ機會ヲ得ナイコトト兩種ヲ培養シテ其發育ノ狀態ヤ胞子形成ノ過程ノ異同ヲ實驗的ニ觀察スル迄ニ至ラナイ、其故胞子ニ多角形ノ網目紋ノ明瞭ナルコト（本種）ト其模樣ガ網目ヲナサヌコト（T. persimilis）トヲ兩者ノ特徵トシタ Rostafinski (1875) 並ニ Lister (1894) ノ兩氏ノ記事ト圖解トニ據テ玆ニハ姑ク兩種ヲ存立スルコトニシタ



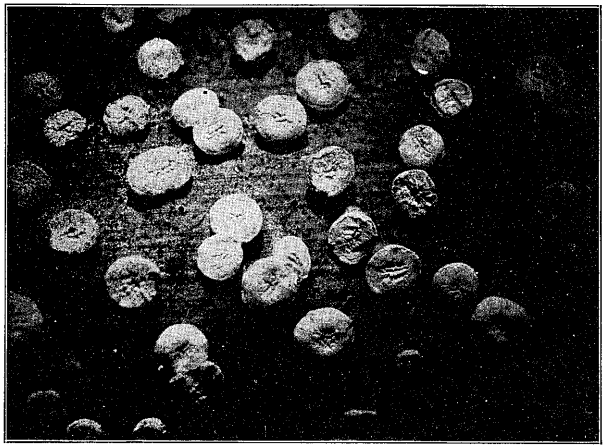
第　三　圖
同上ノ細毛體ト胞子（五百倍大）



第　四　圖
細毛體ト胞子ト更ヲ大廓ニシタル者（千倍大）

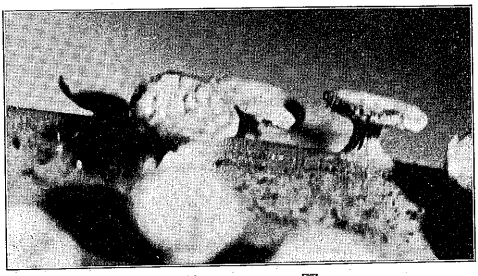
ODiderma hemisphericum (Bulliard) Hornemann

此種ハフィリッピン、セイロンノ諸島及歐洲、北米等ノ溫帶地方ニモ產スルコトガ知ラレテ居リ、日本デハ臺灣、小笠原島ヲ初メトシテ本州ノ中部ニ知ラレテ居ル、玆ニ擧ゲタル者ハ東京デ採集シタ者デアル



第 五 圖

Diderma hemisphericum (Bull.) Hornm. ノ全形（七倍大）



第 六 圖

同上ヲ横ヨリ見タルモノ（大倍五十）

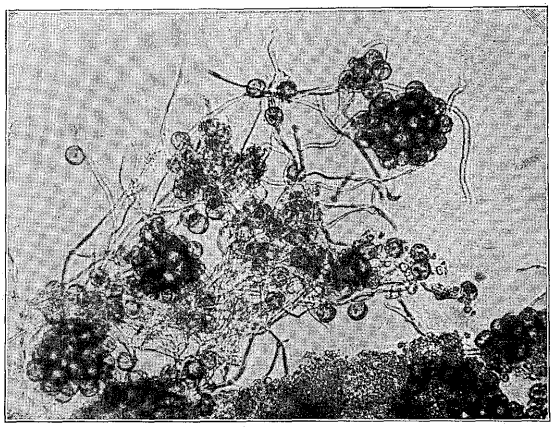
變形體ハ乳白色ヲ呈スル、子嚢體ハ白色ニシテ圓盤狀ノ子嚢ト太クシテ短カキ柄トヨリ成リ稀ニ柄ノ不明ナル者モアル、表面カラ見レバ白色圓形ニシテ中央ニテ幾分凹ミ又多少皺ガアル（第五圖）、此碁石形ノ者ガ葉ノ上ニ密ニ著生シ之ヲ横カラ見レバ第六圖ノ如ク恰モ蕈形ヲナシテ居ル、柄ノ色ニハ幾分黄色カ淡キ褐色ノ者ガアリテ頗ル太ク且ツ石灰質ニ富ミ縦ノ皺ガアル、柄ノ基部ハ白色ノ變形膜ニ移リ行キ此膜ニ依ッテ他物ニ著生スル

子嚢ハ内外二層ノ膜カラ成リ外膜ハ特ニ石灰質ヲ多ク含ミ硬キ殻ノ如クニナリ脆クシテ容易ニ破碎シ其下カラ薄キ内膜ガ露出スル、子嚢底ニハ不分明ナガラ幾分赤味ヲ帶ビタ子嚢軸ヲ認メルコトガ出來ルノデアル

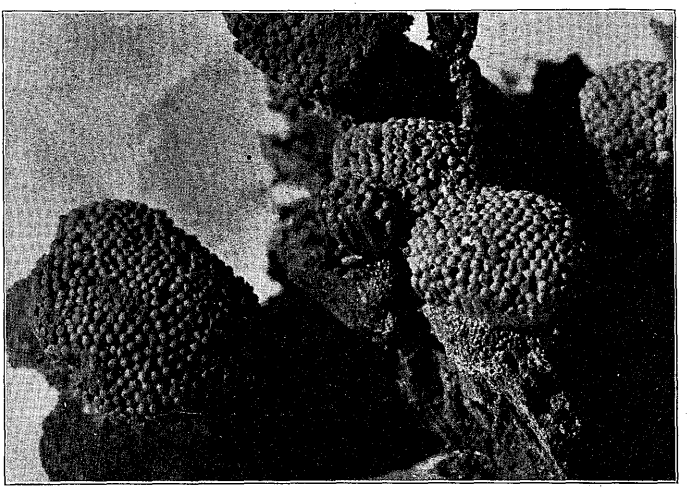
細毛體ハ淡褐色ノ纖細ナ絲デ諸所デ叉狀ニ枝ヲ分テテ子嚢内部ノ上下ニ連ナリ其間隙ニ胞子ヲ包容スル、胞子ハ淡キ菫色カ「ライラック」色即チ鳩羽紫ノ薄キ色調ガアッテ其膜ハ平滑ニ見エ大サハ七乃至九μニ達スル、此種ハ歐米ノ溫帶地方及其他熱帶地方ニモ産スルコトガ知ラレテ居ル、

日本デハ臺灣カラ本州ノ南部ニモ產スル、玆ニ擧ゲタノハ下野那須ノ森林中デくゞざさノ枯葉上ニ發生シタ者デアル

○Tubifera ferruginosa (Batsch) Gmelin

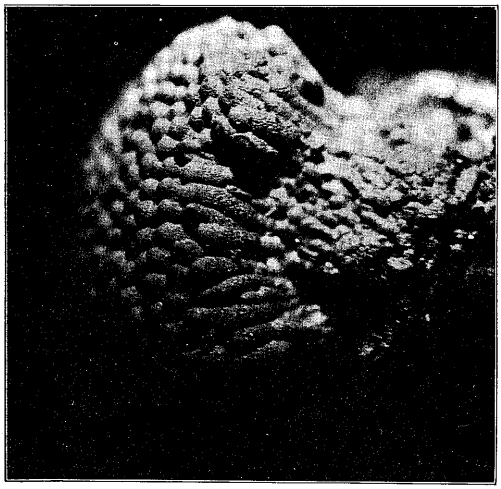


第　七　圖
同上ノ細毛體ト胞子（三百大）

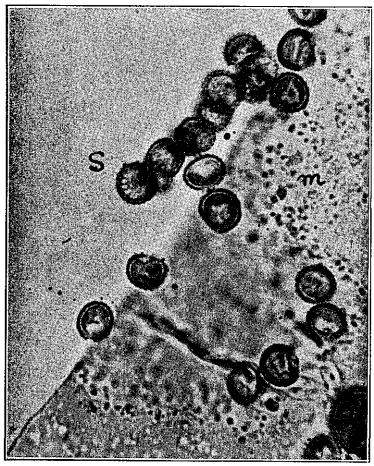


第　八　圖
Tubifera ferruginosa (Bat.) Gmn. ノ子囊團（三倍大）

變形體ノ色ハ初メハ乳白色デアルガ次第ニ變ジテ紅色カ肉色トナリ更ニ柿色カラ濃キ鳶色ニ變ハル、斯クシテ此變形體ノ全部カラ一團ノ子囊體ガ出來ルカ或ハ數團ノ子囊體ガ分レテ完成セラル、コトガアル（第八圖）、又變形體ノ一部分ガ粗鬆ナ變形膜トナッテ殘リ子囊團ノ根柢ヲ成シテ居ル、子囊ハ熟シタ者デハ鳶色デ光澤ガアリ其膜ニハ薄キコトト相當ニ厚イ



第九圖
同上、子嚢圍ノ一個（六倍大）



第十圖
同上ノ胞子（s）ト子嚢壁ノ一部（m）
（千倍大）

云フ者モ全ク存在シナイ

胞子ハ集團ヲナシタ者デハ濃キ鳶色ニ見エル、各個ノ大サハ約八μヲ算シ其表面ノ大部分ニ細カキ網目模様ガアリ側面カラ見ルト微細ナ突起ガ在ル如キ觀ヲ呈スル、第十圖ノ（s）ニ其趣キヲ窺フコトガ出來ル

此種ハ多クハ朽チタル木ノ上ニ發生スルヲ見ル、瓜哇ノ如キ熱帶ノ地方カラ延テ歐米ノ溫帶地方ヲ通ジ尙ホ遠クアラスカニモ產スルコトガ知ラレテ居ル、我日本ニテモ亦諸所ニ產スル、玆ニ述ベタ材料ハ東京ニテ採集シタ者デアル

ナスガ周緣ニアルモノハ個々離レテ完全ノ形ヲ保ツ者モ少クナイ（第九圖）、子嚢ノ內容ハ胞子ガ充滿スルノミデ細毛體モナク又同屬ノ他種ニ見ルガ如キ擬子嚢軸（Pseudocolumella）トコトトアル、

形ハ縱ニ細長ク上端ハ半球狀ヲナス圓筒形ノ嚢デ之ガ多數ニ密接スルガ爲メニ互ニ壓迫セラレテ內側ノ者ハ幾分多角形ヲ